

# KaracrixBuilderV3 システムマニュアル

## 3章 KaracrixBuilder の操作概要

(章別取扱説明書 v1.10)

株式会社 エスアイ創房

# KaracrixBuilder

---

## ■ 改定履歴

第 1.00 版 2008/12/01

第 1.10 版 2015/08/10 製品型番変更(24A->32F, 500B->700R)

## ■ おことわり

- (1) 本書内容の一部又は全部を、無断で他に転載することは禁止されています。
- (2) 本書内容は、将来予告無く変更する場合があります。

KARACRIX は株式会社エスアイ創房の登録商標です。

KaracrixBuilderV3 システムマニュアル 第 1.10 版 © S.I.Soubou Inc.

## 目次

3 章	KaracrixBuilder の操作概要.....	3-1
3.1	KaracrixBuilder の起動.....	3-1
3.2	KaracrixBuilder コンソールの機能.....	3-5
3.3	メインメニュー.....	3-7
3.4	画面操作の基本事項.....	3-11



## 3章 KaracrixBuilder の操作概要

KaracrixBuilder を使用するための共通操作について解説します。

### 3.1 KaracrixBuilder の起動

KaracrixBuilder を起動するには、KaracrixBuilder をインストールしたディレクトリ配下にある `karacrix.sh` というシステム起動用シェルコマンドファイルを実行することで行ないます。

シェルコマンドファイルを実行する場合、GUI<sup>※1</sup>とコマンドラインからの2つのアプローチがあります。

※1 グラフィカルユーザインターフェイス

#### (1)GUI からの起動(マウスボタン操作)

ここで言う GUI とは、階層化されたディレクトリ構成からファイル選択機能を提供する OS の機能のことを差します。Windows の場合は「エクスプローラ」と言われていますが、Linux の場合は OS のバージョン等によって機能の名称、操作方法やデザインが大きく異なる場合があります。従って、ここでは統一化した共通の手順を説明することはできませんが、ファイル選択機能を使用して任意の上位画面から `karacrix.sh` が見えるところまで移動を繰り返し `karacrix.sh` が表示された画面でマウスボタンクリックで実行するという手順になります。以下、CentOS5 での例を紹介します。

#### CentOS5 の場合

CentOS5 の GUI によるファイル選択機能でも `karacrix.sh` が置かれているディレクトリへ移る方法はいくつかあります。デスクトップ画面にホームを示すフォルダ(ディレクトリ)があれば、そのフォルダからインストールディレクトリに移動することができます。また、メニューバーからも移動することができます。

以下では、メニューバーから移動する場合の例で解説しています。

### 3.1 KaracrixBuilder の起動

メニューバーの[アプリケーション]→[システムツール]→[ファイル・ブラウザ]から「ファイル・ブラウザ」ウィンドウを開いて、KaracrixBuilder のインストールされているディレクトリに移動します。

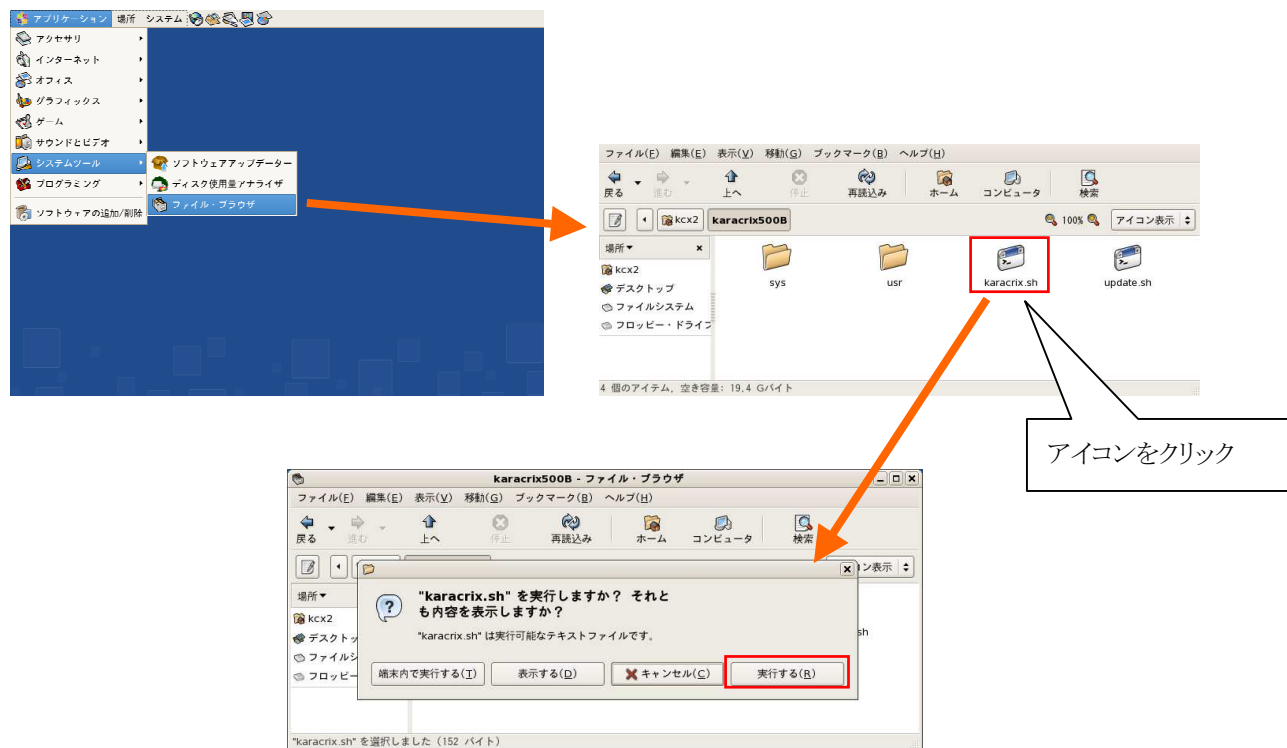


図 3.1.1 KaracrixBuilder を GUI から起動する

ディレクトリが見つかったらその中にある karacrix.sh のアイコンをダブルクリックします。GUI 操作確認ダイアログが表示されますので、そこで「実行する」ボタンを押して実行させます。（「表示する」ボタンを押すと karacrix.sh の中が見れます。環境変数を設定し、karacrix 実行コードを起動しているのが分かります。）

しばらくすると※2、KaracrixBuilder コンソール画面(後述「3.2 項」参照)がスクリーン左上に表示されます。

※2 KaracrixBuilder コンソール画面表示までの速度は、OS の種類と CPU の速度にもよりますが、約 10～180 秒程度お待ちください。また、コンソール画面が表示される前に karacrix.sh を再度起動してしまいますと、システムの2重起動禁止でロックすることがあります。この場合には、CPU を再起動して再度 KaracrixBuilder を実行して下さい。

#### ○KaracrixBuilder が立ち上がらない場合

システムが起動できない場合、GUI からの起動方法ではメッセージ等の確認が出来ないため原因を特定することが困難ですので、その場合は、コマンドラインからの起動をお試し下さい。KaracrixBuilder をコマンドラインから起動した場合には、起動できない理由を KaracrixBuilder がテキスト出力する場合があります。出力する場所は、KaracrixBuilder を起動した画面に表示されます。

## (2)コマンドラインから(キー入力)起動

(参考)KaracrixBulder は内部で致命的な問題が生じた場合、その問題をメッセージテキストで出力する場合があります。コマンドラインで起動した場合には、起動した画面にメッセージを表示します。

コマンドラインから起動する場合、コマンド端末と呼ばれる画面からキーボードを使ってコマンド文字を入力して実行させます。なお、このコマンドをキーボード入力する画面のことをコマンド端末と呼称するかどうかは、OS のバージョン等によっても異なる場合がありますので呼び方にご注意ください。  
以下、CentOS5 での例を紹介します。

### CentOS5の場合

メニューバーの[アクセサリ]→[GNOME 端末]を選択してコマンド端末を表示させて下さい。

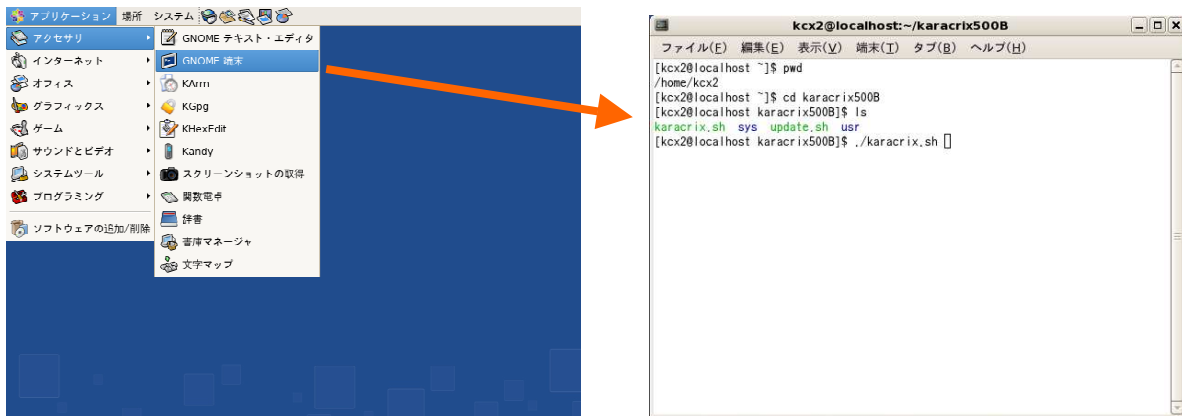


図 3.1.2 KaracrixBuilder をコマンドラインから起動する

cd コマンドで KaracrixBulder のインストールされているディレクトリに移動して下さい。

```
% cd karacrix700R      (KaracrixBuilder-700R の例)
% cd karacrix32F      (KaracrixBuilder-32F の例)
```

ディレクトリに移動したらその中に karacrix.sh ファイルがあるかリストコマンドで確認します。

```
% ls
```

ディレクトリの中に karacrix.sh があれば以下のようにコマンドファイルを実行します。

(./ のドットは現在位置するディレクトリを示し、スラッシュはそのディレクトリ配下のものを指定することを意味します)

```
% ./karacrix.sh
```

### 3.1 KaracrixBuilder の起動

しばらくすると KaracrixBuilder コンソール画面がスクリーン左上に表示されます。

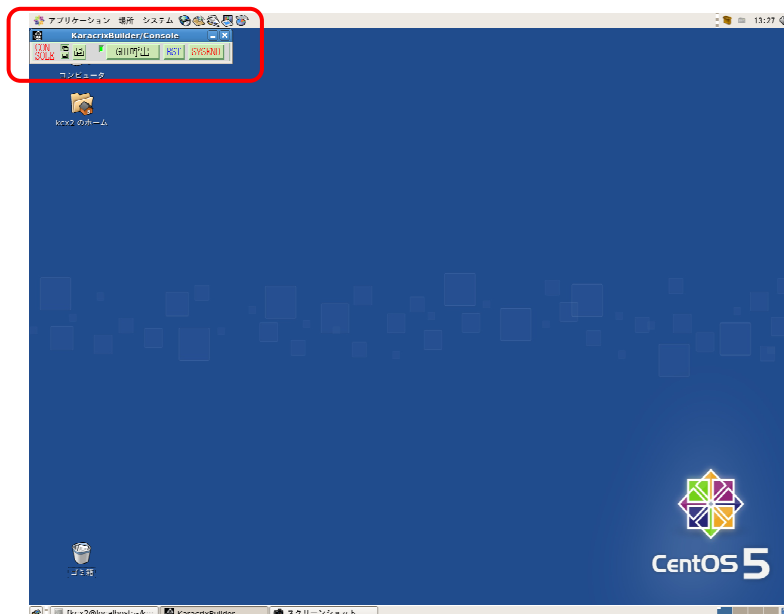


図 3.1.3 KaracrixBuilder コンソールが起動したところ

#### (3) ユーザー登録 (初回のみ)

インストールして初回の起動時のみ、ユーザー登録画面が表示されますので、登録名称欄にマウスポインタを移動してクリックして任意のユーザー名を入力します。同様に、登録コード欄にライセンス証に記載のライセンス番号を入力して下さい。入力したら登録ボタンを押して登録して下さい。

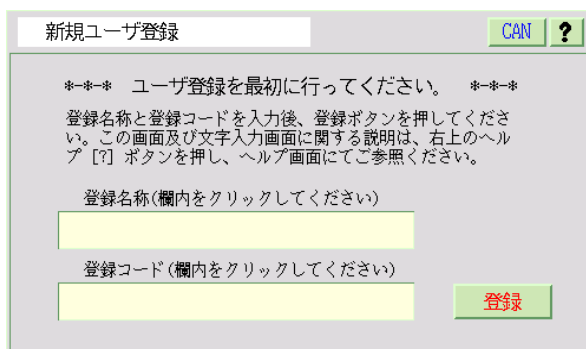


図 3.1.4 ユーザー登録画面



## 3.2 KaracrixBuilder コンソールの機能

KaracrixBuilder コンソールは各種設定をおこなうメインメニューの呼出し、ウィンドウ展開方式の設定、画面のハードコピー印刷と KaracrixBuilder のリセット及び終了を行います。

(参考) --X ウィンドウシステムのことをご存知の方へ--

KaracrixBuilder の各種画面のうち、KaracrixBuilder コンソール画面のみ、ウィンドウマネージャの介入を許可しています。その他の各画面では、ウィンドウマネージャ等の外部からの介入で設定画面を強制終了させられないように、拒否設定しています。従って、KaracrixBuilder コンソール画面はウィンドウマネージャによる操作に従いますが、他の各画面はデスクトップページを切り替えても影響を受けずに切り替わることはありません。

KaracrixBuilder コンソールの機能を以下で解説します。

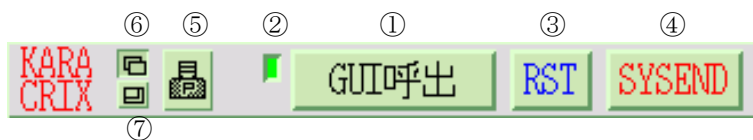


図 3.2.1 KaracrixBuilder コンソール

### ①GUI 呼出(GUI 終了)ボタン

KaracrixBuilder の各種設定をおこなうメインメニューを呼出します。ボタンの表示は、起動前が **GUI呼出**、起動後が **GUI終了** に変化します。**GUI終了** ボタンをクリックすると、GUI が終了します。

※“GUI 呼出”が表示されている状態は、設定画面が終了されている状態であり、設定画面で起動したプログラムやスケジュール等は**バックグラウンドで動作**しています。

### ②状態 LED 表示

KaracrixBuilder の動作状態を表示色で表示します。

状態色を下表に示します。

表 3.2.1 状態 LED の意味

LED 表示色	状態
青	GUI を起動中です (RUN 状態)
緑	GUI を停止中です (STOP 状態)
赤	GUI を起動または停止へ移行中です (WAIT 状態)

### ③RST(リセット)ボタン

KaracrixBuilder を再起動します。システム的环境設定データなどを変更した場合など、システムをリセットして再起動する場合に使用します。

### ④SYSEND(システム終了)ボタン

KaracrixBuilder を終了します。システムの停止には手順がありますので(安全に)終了させるためには、本ボタンを使用してください。

また、本ボタンを使用せず(ウインドウ枠の×ボタンを押すなど)終了した場合には、システム異常終了と検知し KaracrixBuilder が自動再起動する場合がありますのでご注意ください。

### ⑤ ハードコピーボタン

画面全体のハードコピーをとります。

(「2章インストール 2.5 印刷環境の設定」を参照)

### ⑥ ウィンドウ展開ボタン(オフセットタイプ)

ディスプレイの横幅の解像度が 1025 ドット以上の場合にデフォルトで選択されています。ウィンドウが右下方向へオフセットされて展開されます。オーバーラップタイプへの変更は可能です。

### ⑦ ウィンドウ展開ボタン(オーバーラップタイプ)

ディスプレイの横幅の解像度が 1024 ドット以下の場合にデフォルトで選択されています。ウィンドウがオフセットされずに重なって展開されます。

## 3.3 メインメニュー

### (1)メインメニューの起動

KaracrixBuilder コンソールの **GUI呼出** ボタンを押すとメインメニューが起動します。

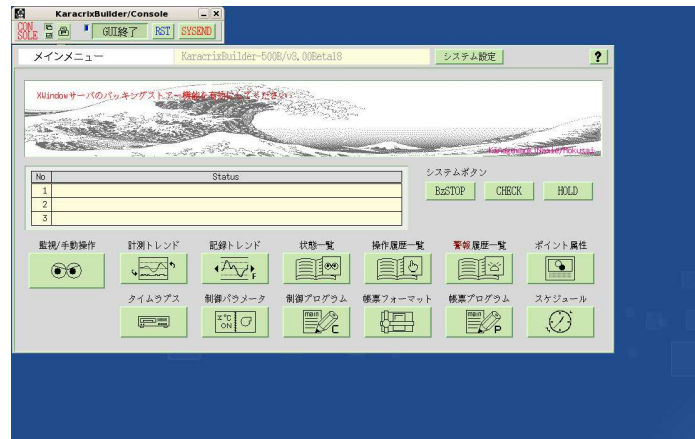


図 3.3.1 メインメニュー (KaracrixBuilder-700R)

### (2)メインメニューの機能

KaracrixBuilder の各種設定画面を呼出します。メインメニューに表示されているボタンから呼出せる各種機能は次の通りです。

#### ■KaracrixBuilder-700R の機能

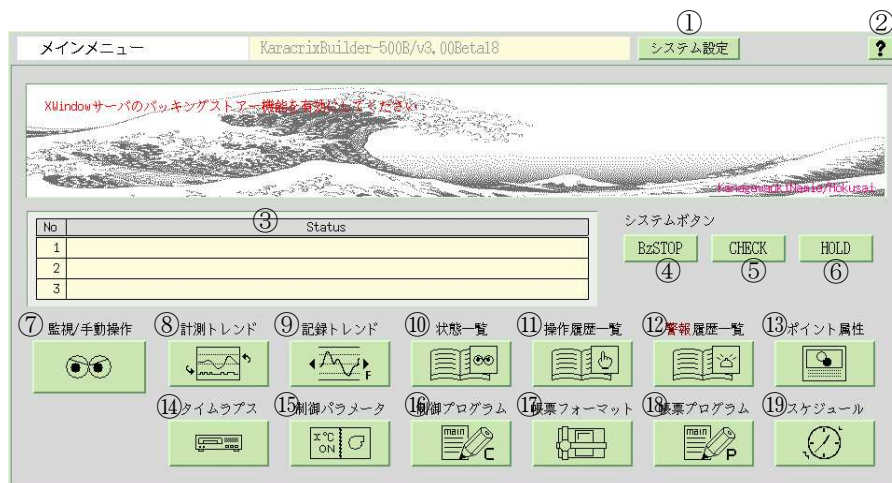



図 3.3.2 メインメニュー (KaracrixBuilder-700R)

①  システム設定ボタン


システム環境設定メニュー画面を表示します。ポイントオブジェクトの登録、Webブラウザ、Eメールからのアクセス設定、管理ファイルの参照などのシステム動作上の基本設定を行います。

②  ヘルプボタン

表示されている画面機能の簡単な説明をします。

③ システム情報表示エリア

制御プログラムから各種文字情報を表示することができる領域です。表示する内容はユーザが自由に設計できます。

④  ブザー停止ボタン

警報ブザー等が動作しているときに、動作を停止するボタンとして使用することを想定しています。本ボタンを押したときに内部的にはシステムオブジェクトとして定義されている整数アナログ型ポイントオブジェクトの状態値を 1 に書き換えます。

KCX ライブラリ関数からのアクセスにつかう OBJID 名は、".bz" になります。

※使用方法: `objid=kcxobj_open(".bz");` 実行後、

状態読込には `kcxobj_stat_ird()`を、書込には `kcxobj_stat_iwt()`を使用します。


⑤  チェックボタン

確認ボタンとして使用することを想定しています。本ボタンを押したときに内部的にはシステムオブジェクトとして定義されている整数アナログ型ポイントオブジェクトの状態値を 1 に書き換えます。

KCX ライブラリ関数からのアクセスにつかう OBJID 名は、".almchk" になります。

※使用方法: `objid=kcxobj_open(".almchk");` 実行後、

状態読込には `kcxobj_stat_ird()`を、書込には `kcxobj_stat_iwt()`を使用します。


⑥  ホールドボタン

本ボタンは、トグルボタンになっており押された状態で“1”、戻すと“0”の内部的にはシステムオブジェクトとして定義されている整数アナログ型ポイントオブジェクトの状態になります。


KCX ライブラリ関数からのアクセスにつかう OBJID 名は、".hold" になります。

※使用方法: `objid=kcxobj_open(".hold");` 実行後、


状態読込には `kcxobj_stat_ird()`を、書込には `kcxobj_stat_iwt()`を使用します。

⑦  監視/手動操作ボタン


ポイントの監視・操作、及び監視パネルの作成をおこないます。

⑧  計測トレンドボタン


リングメモリ上に記録しているデータをトレンドグラフとして表示する設定をおこないます。

⑨  記録トレンドボタン


記録ファイルに保存しているデータをトレンドグラフとして表示する設定をおこないます。

⑩  状態一覧ボタン


登録されているポイントの現在状態値の一覧を表示します。ポイントの操作を行うことも出来ます。

⑪  操作履歴一覧ボタン


ポイント等の操作履歴の一覧を表示します。

⑫  警報履歴一覧ボタン


ポイント等の警報履歴の一覧を表示します。

⑬  ポイント属性設定ボタン

ポイントの属性設定値(主にオブジェクト共有メモリ)の変更を行なう場合に使用します。

⑭  タイムラプスボタン


画像イメージを任意の時間間隔(最小1秒)で記録しJPEG形式の画像ファイルとして保存する設定をおこないます。

⑮  制御パラメータボタン


制御プログラムで登録されているパラメータ(データ)の編集をおこないます。

⑯  制御プログラムボタン


制御プログラムの作成、編集、実行コードの作成、実行、実行状況のモニタをおこないます。

⑰  印刷フォーマットボタン

各種レポートや帳票として使用する印刷フォーマットを作成、編集をおこないます。

⑱  印刷プログラムボタン

印刷フォームにデータを合成して印刷するプログラムの作成をおこないます。

⑲  スケジュール起動ボタン

各種オブジェクトのスケジュール運転の設定をおこないます。

## 3.4 画面操作の基本事項

KaracrixBuilderの各画面を操作する時の共通事項を説明します。画面のことをウインドウ、ダイアログなどと呼ぶ場合がありますが同義のものとしてお考え下さい。

### (1)タイトル

画面のタイトル(名称)はその上部左側に表示されます。このタイトル欄にマウスのカーソルを当てると周囲が赤線で縁取られ、その状態でマウスボタン(右 or 左)を押すと画面を掴んで移動することができます。



図 3.4.1 タイトルの表示

### (2)ヘルプ表示

画面右上の **?** ボタンを押すとその画面の操作概要が表示されます。

**F1** **F2** ボタンは、各画面ごとに特別な機能がある場合に使用できます。使用できる機能は各ヘルプ画面の説明を参照して下さい。

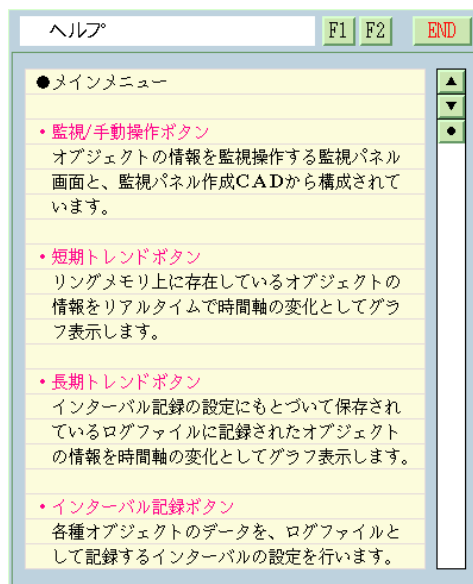


図 3.4.2 ヘルプダイアログの例

## (3)リスト編集操作

各種リスト画面では、リスト編集ボタンの操作により、行の挿入、移動、複写、削除などの行単位での編集を行うことができます。

No.	グラフ名	記録状態 / 登録ポイント一覧	描画状態	W3	MB
4					
5					
6					
7					
8					
9	サンプル記録(疑似センサープログラム参考)	記録中 di001, ai003, ai004, ,,,	1 sec	*	*
10	サンプル記録(リモートI/Oからの実入力)	記録中 ai001, ai002, di001, do001 ,,,	1 sec	*	*
11	サンプル記録(3分)	記録中 ai001, ai002, di001, do001 ,,,	180 sec	*	*
12	サンプル記録(10分)	記録中 ai001, ai002, di001, do001 ,,,	600 sec	*	*
13					

図 3.4.3 リスト表示例

## スクロール

①の ▲ ▼ ● ボタン(スクロールボタン)でリストのスクロールができます。

また、ホイールマウスを使用してスクロールさせる場合には、マウスポインター(カーソル)をスクロール領域の中に当てたままホイールを回してください。上下回転1クリック分が ▲ ▼ ボタン1つ押した分に相当し移動します。

## リストの編集

②の 🔄 ボタン(リスト編集ボタン)を押すとリストの編集を行うことができます。編集では挿入・消去・削除・移動・複写・ファイル出力の5種類がありますが、編集できる内容は各画面によって異なります。



## 新しい行を挿入する

1. リスト編集ボタンを押して INS (INS)表示にします。
2. 行を挿入したい位置を示す 📄 ボタンを押します。  
指定した行の上に新しい行が挿入されます。
3. 「空のデータを追加します」という確認ウィンドウが表示されるので、「YES」を選択します。



※リストの最終行にデータが登録されている場合、新しい行の挿入はできませんので、任意の行を削除してから実行する必要があります。





## 行の内容を消去する

1. リスト編集ボタンを押して  (CLR)表示にします。
2. 内容を消去したい行の位置の  ボタンを押します。
3. 「データを空にします」という確認ウィンドウが表示されるので、「YES」を選択します。

## 行を削除する



1. リスト編集ボタンを押して  (DEL)表示にします。
2. 削除したい行の  ボタンを押します。
3. 「データを削除します」という確認ウィンドウが表示されるので、「YES」を選択します。

## 行(複数行可)を移動する

1. リスト編集ボタンを押して  (MOV)表示にします。
2. 移動先の行の  ボタンを押します。
3. 数値入力ウィンドウが表示されるので、移動元の行番号(No.)を指定します。



※移動元の行番号の範囲に、移動先の行番号を含むことは出来ません。

## 行を複写する

1. リスト編集ボタンを押して  (CPY)表示にします。
2. 複写先の行の  ボタンを押します。
3. 数値入力ウィンドウが表示されるので、複写先の行番号(No.)を指定します。

※移動元に、空行を指定することは出来ません。

## 行をファイル出力する

1. リスト編集ボタンを押して  (PUT)表示にします。
  2. ファイル出力したい行の  ボタンを押します。
- ※外部ファイル出力については、「18章 リソースファイルの入出力」を参照して下さい。

## (4)文字の入力

文字を入力する所では、文字入力画面が表示されますので、キーボードから文字入力します。

日本語入力の操作方法（後述「(5)日本語入力切替」参照）は、OS に使われている日本語入力ソフト(FEP、IME)によりそれぞれ異なります。お使いの OS(ディストリビューション)の日本語入力ソフトの使い方に従って操作してください。

文字入力画面では、日本語が入力できる場合と出来ない場合があります。下図の「入力文字タイプ表示」の部分に、薄紫色で KANJI と表示されている場合、日本語入力が可能な状態を示しています。ascii と表示されている場合には、日本語入力できない状態を示しています。

日本語入力が可能な状態で日本語入力する場合は、お使いの日本語入力メソッドに従って入力操作してください。

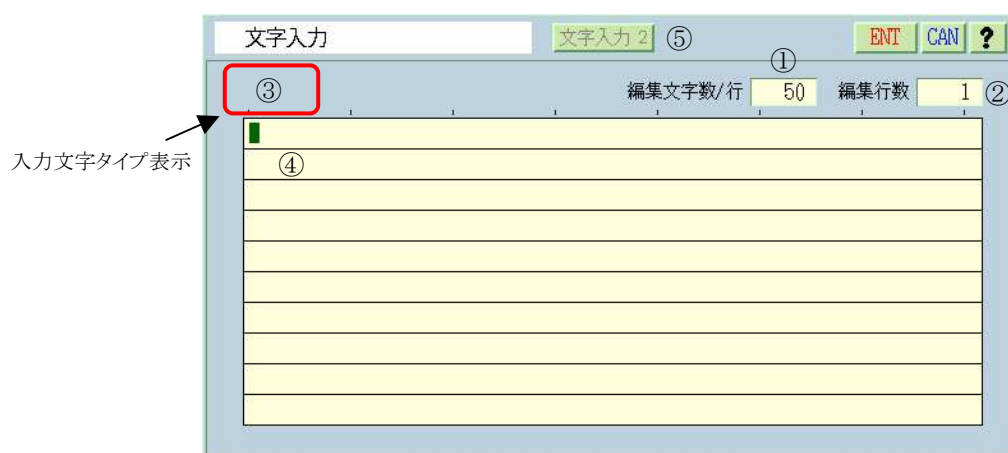


図 3.4.4 文字入力画面

## ①編集文字数／行

編集可能な 1 行あたりの最大文字数(半角)を表示します。

※1行とは改行を含まない文を示します。2 行とは改行 1 つ含む文を示します。

## ②編集行数

編集可能な最大行数を表示します。行数とは改行による行数を示します。

※下図の様に 1 行目に文字入力して改行した場合、2 行と解釈されます。



図 3.4.5 文字を 2 行入力した例

## ③入力文字タイプ表示

日本語入力可能な場合、薄紫色で KANJI と表示されます。

日本語入力不可能な場合、薄紫色で ascii と表示されます。

## ④禁則文字

アスキー文字(半角)のダブルクォート(“)は、システム内部で区切り記号に使用していますので入力できません。この入力があった場合には、アンダーバー( )に置き換わります。

## ⑤編集エリア

文字を入力する領域です。

### (注意) キーボード入力のトラブル

お使いのデスクトップ環境によっては、キーボードからの入力が受け付けられなくなる場合があります。これは、何らかのタイミングで、お使いのウィンドウマネージャ等によって文字入力画面からキーのフォーカスが取られてしまう為です。このような状態が発生しましたら、マウスポインター(カーソル)を文字入力画面から完全に外してから再度画面に入れて下さい。このタイミングでフォーカスが取り戻されてキー入力ができるようになるはずですが。

## (5)日本語入力切替

以下に代表的な OS の日本語を入力する場合の切替方法を示しておきます。

詳しくは、お使いの OS 環境の解説書を参照してください。

### 1. OS が SCIM + anthy 日本語入力メソッド 使用している場合

日本語入力モードにする場合、通常半角/全角ボタンを用いて切替えます。

### 2. OS が kinput2 日本語入力メソッド 使用している場合

日本語入力モードにする場合、通常シフト(Shift)+スペースボタンを用いて切替えます。

(注意) kinput2 の場合、お使いのウィンドウマネージャとの相性によって、かな漢字変換候補一覧画面が KaracrixBuilder 画面の下にマッピングされてしまう場合があります。この場合画面では処理が停止(ハングアップ)しているかのように見えてしまいます。この問題は、KaracrixBuilder 側で対策することが出来ません。この場合の回避策を下記に示します。

1. 下部に表示する候補一覧画面が見えるように、KaracrixBuilder の親画面を予め横に移動させておき、「文字入力」画面を呼び出す。
2. かな漢字変換(Canna)サーバが動作している場合、「文字入力 2」画面を呼び出す。

日本語入力モードに切り替えるにはマウスカーソルを文字入力画面上に重ねてから行います。切り替えのためのキー信号が画面に送られるようにするためです。

